



No.141  
平成25年6月11日

# 議会広報

# いえそん



▲平成25年度子牛共進会

- 平成25年第2回3月定例会 ..... 2
- 一般質問 ..... 6~10
- 議決の結果 ..... 11
- 議会の活動 ..... 12

いえそん No.141  
議会広報

発行／伊江村議会  
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サンエス  
TEL:098-889-7421

**どうぞ  
傍聴席へ**

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。

**TEL 0980-49-2924(直通)**

## 伊江村議会HPで最新情報を！

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したもののです。

さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。



<http://www.iejima.org/iegikai/>  
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)

(12)

## 議会の活動

### 平成25年3月

- 6日：「島らっきょうの里」宣言及び「島らっきょうの日」制定セレモニー(全議)
- 7日：議会運営委員会、議会全員協議会
- 10日：伊江中学校卒業式(全議)
- 12日～22日：平成25年第2回定期議会
- 21日：伊江小・西小学校卒業式(全議)

- 23日：北部広域市町村定例会(議長)
- 25日：観光協会民家体験泊事業  
10周年記念式典(議長)
- 27日：第3回 臨時議会
- 28日：さとうきび製糖終了報告会(議長)
- 29日：伊江村役場退職者辞令交付式(議長)

### 平成25年4月

- 4日：北部市町村議會議長会理事会・総会(議長)  
軍用地等地主会総会(議長)
- 9日：伊江小・西小学校入学式(全議)
- 11日：村長当選書付与式(全議)
- 13日：伊江島マラソン大会(全議)
- 14日：アーニバイル記念式典(議長)
- 18日：伊江村婦人会総会(議長)
- 19日：北部出身副知事就任激励会(議長)  
イージマ郷友会北部高校生激励会(副議長)

- 20日：ゆり祭りオープニング(全議)  
東保育所落成式典(全議)
- 21日：芳魂之塔平和祈願祭(全議)
- 23～26日：村長と関係省庁への挨拶廻り(議長)
- 23日：沖縄振興拡大会議(副議長)
- 26日：村長退任式(議長)
- 30日：老人クラブ総会(全議)



▲婦人会総会で挨拶する議長



▲イージマ郷友会主催北部高校生激励会

### 平成25年5月

- 2日：第4回臨時議会、議員全員協議会
- 8日：正副常任委員長研修会  
(内田竹保総務委員長、山城克己経・公副委員長)
- 18日：県植樹祭(議長)
- 19日：伊江村郷友会主催新高校生激励会(議長)
- 20日：北部市町村議會議長会理事会・定期総会(議長)
- 22日：人材育成会理事会(全議)
- 24日：商工会総会(議長)
- 27～30日：町村議長会議長・副議長研修会【東京】  
(議長、副議長)



▲伊江村郷友会主催による中南部の新高校生激励会



## TPP交渉への参加反対に関する意見書

TPP交渉（環太平洋連携協定）について、安倍総理は、「聖域なき関税撤廃」が前提ではないとの認識に立った」とし、3月15日に交渉への参加を表明した。

しかしながら、我が国の農産品が関税撤廃の対象から除外される保証はなく、このままでは、我々は国の将来や農業の存亡に関する不安を拭い切れず、政府の拙速な交渉参加を断じて容認することはできない。

TPPは、例外なき関税撤廃を前提としているだけでなく、国民のいのちと健康を守る医療制度や食の安全・安心の基準等についても改悪を余儀なくされ、さらに、外国企業が国を訴えるISD（投資家対国家間の紛争解決）条項が導入される危険性から、国家主権にも関わる重要な問題である。

とりわけ、国境離島を抱える本県においては、農業に限らず定住社会の維持そのものに深刻な影響を及ぼすことが懸念されている。

よって本議会は、本県の魅力ある農業・農村・地域社会を守り、多くの県民が安心して暮らせる豊かな社会づくりの実現のため、国民の暮らし及び地域の実情を無視した拙速なTPP交渉への参加表明に強く抗議するとともに、下記事項の実現を図るよう、強く要請する。

### 記

#### 1. 拙速なTPP交渉参加表明を直ちに撤回すること

先の日米首脳会談では、全ての品目が交渉対象とされること、包括的で高い水準の協定を達成していくこと、日米ともに慎重な対応を求める重要な品目の存在を認識しつつも最終的な結果は交渉の中で決まっていくものであることが確認されたに過ぎない。

このような状況において、安倍総理がTPP交渉への参加表明を行なったことは国民の信頼を裏切る行為であり、あまりにも拙速であり、参加表明を直ちに撤回すること。

#### 2. 自民党が政権公約で示したTPPに関する6項目の判断基準を堅持すること

安倍総理が、「聖域なき関税撤廃が前提でない」と認識するのであれば、我が国の農産品が関税撤廃の対象から除外される保証を確保するとともに、食の安全安心の基準や国民皆保険制度を守り、ISD条項は認めないことなど、衆議院選挙の政権公約で示したTPPに関する6項目の判断基準を堅持すること。

#### 3. 徹底した情報開示と広範な国民的議論を実施すること

TPPの内容について、恣意的なマスコミ報道等によって農業の関税問題に矮小化されているが、本質は我が国経済及び国民生活全般にかかわる問題であり、政府が米国等と行なっている事前協議の内容を含め、徹底した情報開示と広範な国民的議論を実施すること。

以上、地方自治法第99条により意見書を提出する。

平成25年3月22日  
沖縄県伊江村議会

あて先

内閣総理大臣  
農林水産大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣  
自由民主党政調会長

外務大臣  
経済産業大臣  
自由民主党総裁  
自由民主党外交・経済連携推進本部本部長

### 反対討論

#### 障がい者の車輿航送料金軽減の早期予算化を望む

本予算額は、前年度比6億7,600万円の減となっている。主に農林水産業費で約2億6,300万円、土木費で約2億8,100万円、教育費で約6億円。反面、総務費では4億5,100万円の増で人工透析施設建設費等によるものである。

総務費では、真謝区に対する分遣隊移設特別助成金として、24年度同様費目存置がなされている。わずかばかりの助成金で決着を図ろうとすることに反対し、費目存置の除去を求めた。真謝区の「米軍施設に断固反対」する総会決議が撤回されていない以上、屁理屈をつけて新しい施設建設を要求する米軍に屈せず、移設計画は白紙に戻すべきだと考える。

企画費で、人工透析施設建設費が計上された。長い間の懸案事項が実現でき、患者本人はもちろん、家族の経済的・精神的・肉体的負担が軽減されるものと確信する。

教育費では、第3子以降の給食費が免除されることになった。学校給食が「食育」として教育の一環に位置づけられている現在、「給食費の完全無料化」を国や県にも働きかけていくべきだと考える。ま

#### 船舶運航事業で米軍車輿及び米兵の航送をしないよう求める

本予算案にも例年同様、米軍車輿及び米兵の航送計画が組み込まれている。船舶運航事業で米軍車輿及び米兵の航送をしないよう求め反対し続けてきたが、本予算についても同様に理由で反対する。米軍はオスプレイの訓練をはじめ、傍若無人なやりたい放題の訓練をしているが、このような訓練に反対する上でも米軍の航送はすべきでない。

た、高校生に対する支援金が月2万円に増額された。教育費の保護者負担軽減の点で前年度に次ぐ支援費の増額であり評価するものだが、高校生への仕送りが月約10万かかるといわれる現在、本島との負担格差を解消するために、なお一層の支援を国や県に働きかけていくべきだと考える。

障がい者が村外に出かける時の車輿航送料金の軽減については、村長が施政方針で述べているように、年度内に実施できるよう早い時期の予算化を望むものである。

本予算案にも自衛官募集業務委託金が計上された。安倍内閣は、国際情勢の悪化を理由に自衛隊の戦力を強化し「国防軍」に改名し、「集団的自衛権」が行使できるようにするため憲法9条も変える方針に突き進んでいる。村当局には、平和憲法とそれに基づいて宣言した「非核平和むら宣言」の精神をしっかりと引き継ぎ、行政運営を行うことを求める。政府が右翼化の道をひた走ることに歯止めをかけるうえでも、自衛官の募集業務委託金は返上すべきだと考える。

以上で平成25年度一般家計予算案に対する反対討論とする。

9番 名嘉 實 議員  
本会議 一般会計予算

### 賛成討論

#### 人工透析医療開設による患者さんの負担軽減を

甚大な被害を受けた東日本大震災から2年が経過し、いまだに数千名の方々が行方不明である。がれき処理や原発問題は解決できない状況にあり、1日も早い復興を祈るものである。

本県・本村では、相次ぐ台風の襲来により農作物や家屋等に大きな被害が出た。自然災害とはいえ今後防潮・防風対策に係る機関が連携し取り組む必要がある。

長年懸案事項であった人工透析の医療開設に向け、施設建設が本年度着工の運びとなった。これは画期的である。これまで沖縄本島での治療を余儀なくされた患者の皆さんのが経済的・精神的負担が軽減されることを願うものである。

農業面においては、堆肥セクターがいよいよ4月から運用開始、地下ダム工事も平成27年度で事業完了予定であり、安定の農業生産の向上に期待している。しかし、国においては安倍総理がTPP交渉に参加を表明した。農産品は聖域なき完全撤廃の対象から除外される保障

はない。この後、TPP交渉への参加反対に関する意見書が提出されるが、全会一致の可決により、農業を守る観点から絶対に阻止しなければならない。

本定例会において、各議員から意見、提案がいくつかあった。当局においては真摯に耳を傾けて今後の行政施策に反映を望むものである。

村長の施政方針では主要施策13項目が示された。「互いに支え合い、誇りを持って、豊かな気持ちで暮らしを続ける村」の実現に向けて行政・議会が一緒に取り組まなければならない。

最後に、大城勝正村長が任期をもって勇退される。難題を極めた黒糖工場の構築、堆肥セクターの施設整備、人工透析施設の新年度着工等多くの実績がある。本村発展にご尽力された功績は多大なものがあり、敬意を表し後世に語られるものと確信する。

以上、平成25年度一般会計予算案の賛成討論とする。

7番 内田 竹保 議員  
本会議 一般会計予算

#### 早い時期にフェリー「ぐすく」の代船が実現できるよう願う

昨年新「フェリーいえしま」が就航し、パリアフリー化や横搖れ防止策が整い、心地よい船旅であると村内外から好評である。

また、沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業は平成25年度も継続され、割引運賃が大幅に負担軽減でき、離島である村民にとっての経済効果は計り知れないものがある。

議会で質疑もあったが、フェリー「ぐすく」の代船時期はいつにな

るのか。莫大な予算が伴うものであり、早期の計画は困難かと思うが、より早い時期に代船が実現できるよう願う。

燃料価格の流動化、高騰が続く中で、修学旅行生がますます増え、今後とも安定した事業経営が見込まれることから本案に賛成し、討論とする。

7番 内田 竹保 議員  
本会議 船舶運航事業会計予算

# 村政の3月定例会 一般質問

## ここを問う！

島袋 義範 議員



### 1. 農業用溜池水面を利用した太陽光発電について

政策調整室長／ため池水面でのフロート式太陽光電池及びため池を覆う架台式の導入可能性を検討している

**問** 村内には多くの溜池が建設されてきたが、その水面を有効利用することはできなかつた。そのため池が建設されてしまつたことはできないか。もしも、溜池水面の利用が可能となれば村の財政にもいいくらか貢献ができる。国営ダム完成後の農家負担の軽減にも大きく貢献できなかつた。村長は発電業者に水面の利活用を売り込み、伊江島を「エコアーランド伊江島」として全国にアピール

**答** 本村では、太陽光や風力、潮力等の再生可能エネルギーを効率よく運用し、自然エネルギーで賄う、CO<sub>2</sub>ゼロアイランドを目指し「伊江村スマートアイランド構築調査報告書」をまとめていきと申し上げてきた。村長は「まだまだ大丈夫」と答弁されてきたが、当時の見通しははずれ、昨年の台風後から埋まる速度は速くなり、ついに満杯となつた。その後、土砂を覆土することなく積み上げ



### 1. 伊江村のビーチ計画について

商工観光課長／活用及び整備計画について、関係団体と協議会等を開催し、夏場の観光振興に取り組んでいきたい

**問** 伊江村のビーチは砂浜の形成を除けば世界に誇れる潜在的魅力を持つたビーチだと思う。そのためにもビーチの整備は必要不可欠なものだと考える。日本トップレベル10位以内に沖縄県が8か所入っているが、その中には人工的に砂の供給や整備を行つてあるところもある。伊江村も最小限砂の逃げな

い構造や、素足のまま海に入れるような砂の供給等の整備は必要だ。民泊や修学旅行生の誘致キャンペーンの中でも、夏、伊江島に行きたいがビーチの砂を何とかできないかという要望が多々ある。世界に誇れるビーチ環境を持つていると思われる伊江ビーチの活用のため、漁業組合、伊江村商工会、伊江島観光協会、ホテ

**答** 本村のビーチの利用につけて、県内観光のピークとなる8月には、2月の次に利用者が少ない状況である。今年度はこれまで以上に砂浜の清掃を頻繁に行い、利用者から好評を得ている。伊江ビーチの活用及び整備計画については、関係団体と協議会等を開催し、夏場の観光振興に取り組んでいきたい。

**問** ほかのビーチでは、海開きもあるが、ちょうどこの時期はゆり祭り等ができないか。

**答** 伊江村の青少年旅行村のビーチについては、5月1日オーブンをしているが、ちょうど今後伊江村でも7月、8月海開きみたいな行事ができる。

**問** 伊江村の青少年旅

行村のビーチについて

としているが、ちょうどこの時期はゆり祭り等ができないか。

**答** 伊江村の青少年旅

行村のビーチについて

# 村政の3月定例会 一般質問

ここを問う！



内間 広樹 議員

## 1. 伊江村土地改良区設立の進捗状況と国営2号ファームポンンドについて

**農林水産課参考／検討事項**が多岐にわたり、早くても平成26年度末を見込んでいる。

**問** 国営伊江農業水利事業も平成27年度完成に向け、地下ダム、ファームポンンド等の工事が進められ、併せて関連事業の末端かんがい施設整備も進められている。完成後造成された国営、県営、村営事業施設の維持管理が必要となり、そのためには伊江土地改良区（仮称）設立へ向けた準備委員会が設立されているが、現在の

進捗状況と国営2号ファームポンンドの今後の整備予定、外観、周辺整備（植栽等）についてお伺いしたい。

**答** 土地改良区（仮称）設立へ向け準備委員会を立ち上げ、設立の目的、組織体制、賦課金等の検討を行っている。準備委員会では各生産組織の役員会、西部かん水組合への説明会を開催し、その中で

出た意見、課題等を整理し、水利事業所と連携し本村の実情に合った形態を模索している。検討事項が多岐にわたり、設立事務処理スケジュールを検討した場合、早くても平成26年度末を見込んでいる。

国営2号ファームポンンドの整備予定は、土台部は球石灰岩で石張りを施して、花壇や植栽ブロックを設置するなど、環境との調和を配慮し、平成25年度において整備完了予定。

地上部の周辺整備においても、花壇や植栽ブロック

を設置するなど、環境との

調和を配慮し、平成25年度

度末を見込んでいる。

国営2号ファームポンンド

は植栽帶に低木を植栽、

度末を見込んでいる。

## 村政の 3月定例会 一般質問

# ここを 問う

A black and white photograph of a man in a dark suit and tie. He is holding a framed portrait of a woman with long hair in his left hand. In his right hand, he holds a small, thin object, possibly a cigarette or a pen, pointing it towards the portrait. The background is plain and light-colored.

名嘉實議員

## 2. 障がい者と障がい者の家族が村外に出る時のフェリー航送料金の軽減について

**政策調整室長**／  
県と連携を図りながら  
低周波音による影響の  
情報収集に努め、適正  
に対処したい

名嘉 實 議員

をしたいと思う。健康新聞の件についても、防衛省は局、あるいは防衛省あたりから話を聞いて検討していきたい」と答弁された。その後の経緯は。

②現在、本省を通して米軍機関へ照会しているがまだ回答がない旨の報告があつた。

③沖縄防衛局に低周波音測定器の設置の要望を申し入れている。しかし沖縄防衛局では、環境省の低周波音の環境基準が定められておらず、現時点では低周波音測定器の設置は厳し

問 ① 12月定例議会で、「障がい者の方が村外に出かけるときの車輛航送の利用実態を把握するため、車輛航送についての質問を入れたアンケートを年明けに実施する予定である。」と答弁した。アンケートはいつ発送し、回収、集計、分析はいつ頃になるのか。

② 「25年度当初から助成策を実施する方向で検討しているのか。それとも実施しない方向で検討しているのか」という質問に対し、村長は「今調査の段階で、その結果を踏まえて判断したい。ただし何らかの助成ができる形で前向きに進めていくことをご理解いただきたい」と、答弁した。村長は今期限りで引退することを表明されているが、村長が

③伊是名村は昨年、3m未満～5m未満の車輌航送料金を、県の一括交付金により「ヒト」の運賃軽減額2,040円定額で軽減している。伊平屋村は、今年から3m～4mの車輌は現行往復1万5,150円を5,520円へ、9,630円の軽減。 $4\text{m} \sim 5\text{m}$ 未満の車輌は現行往復1万8,750円を6,840円へ、1万1,910円の軽減となり、伊江村の料金よりも安い料金が設定されている。この軽減は村の一括交付金によるものである。伊是名村も伊平屋村も伊江村と比べ財政は厳しい自治体だが、

村民が村外に出かける時の負担軽減策が実施されている。両村と比べ財政にゆとりのある伊江村は、せめて障がい者の航空料金の軽減を年度途中からでも始めたらどうか、村長の見解を伺う。

議決の結果

## 平成25年第2回定例会

議案番号	件名
報告第1号	平成25年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について
同意第1号	固定資産評価審査委員の選任について
同意第2号	固定資産評価審査委員の選任について
同意第3号	固定資産評価審査委員の選任について
議案第16号	沖縄県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
議案第17号	沖縄県介護保険広域連合規約の変更について
議案第21号	伊江村特產品加工支援施設の設置及び管理に関する条例
議案第22号	伊江村特產品加工支援施設の指定管理者の指定について
議案第23号	伊江村特產品加工支援施設の指定管理者の指定について
議案第25号	伊江村特產品加工施設の指定管理者の指定について
議案第18号	伊江村道路の構造の技術的基準等を定める条例
議案第19号	伊江村営住宅の整備に関する基準を定める条例
議案第20号	伊江村営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第24号	伊江村樹木生産育苗施設の設置及び管理に関する条例
議案第26号	伊江村芸能振興基金条例の一部を改正する条例
議案第27号	伊江村学校給食費徴収条例の一部を改正する条例
議案第28号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
議案第29号	伊江村廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例
議案第30号	伊江村保育所設置条例の一部を改正する条例
議案第31号	用水対策1号溜池工事(2工区)請負契約の変更について
議案第10号	平成24年度伊江村一般会計補正予算(第8号)
議案第11号	平成24年度伊江村診療所特別会計補正予算(第3号)
議案第12号	平成24年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第13号	平成24年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
議案第14号	平成24年度伊江村水事業会計補正予算(第2号)
議案第15号	平成24年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第3号)
議案第4号	平成25年度伊江村一般会計予算
議案第5号	平成25年度伊江村診療所特別会計予算
議案第6号	平成25年度伊江村国民健康保険特別会計予算
議案第7号	平成25年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算
議案第8号	平成25年度伊江村水事業会計予算
議案第9号	平成25年度伊江村船舶運航事業会計予算
意見書第1号	TPP交渉への参加反対に関する意見書(案)

## 議決の結果

## 平成25年第3回臨時会

議案番号	件名
認定第1号	村道の路線変更について
報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について
報告第3号	堆肥センター建設工事(建築工事)の専決処分報告について
報告第4号	東保育所建設工事(建築・周辺整備)の専決処分報告について
同意第4号	教育委員の任命について
議案第32号	平成24年度伊江村一般会計補正予算(第9号)
議案第33号	平成24年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
議案第34号	伊江村堆肥センターの設置及び管理に関する条例
議案第35号	伊江島蒸留所施設の指定管理者の指定について

## 議決の結果

## 平成25年第4回臨時会

議案番号	件名
同意第5号	副村長の選任について
同意第6号	教育委員の任命について

いとのことであつた。沖縄県においても、国に対しオスプレイの運用に伴う航空機騒音及

び低周波音の測定を実施し、調査の内容及び結果について報告、公表を求めている所であ

り、県と連携を図りながら低周波音による影響の情報収集に努め、適正に対処したい。